

東京六本木の国立新美術館で好評開催中の展覧会「アヴァンギャルド・チャイナ——〈中国当代美術〉二十年——」が、大阪中之島にある国立国際美術館を巡回したあと、来年の4月から愛知県美術館で開催！



▲国立新美術館

ということで、先月国立新美術館での展示作業に立会ってきました。額に入った絵を展示する一般的な展覧会と違い、映像作品やインスタレーションの作品がいくつもあるので、愛知での展示までに解決しなくてはならない問題がいろいろあることがわかりました。ひとつは電気の問題です。愛知県美術館の展示室は、たくさんの映像機器を同時に使うようなことを想定して設計されていません（電気の容量が足りん！）。そこで国立新美術館のように配電盤から展示室に太いケーブルを引き込むような事前の工事が必要になってくるわけです。



▲映像機器の配線中



▲老人の横顔



▲充電中の老人たち

これはスン・ユアン+ポン・ユウの作品《老人ホーム》です。精密な老人の人形が、展示室内を動き回ります。

おまけ：展覧会タイトルにある「当代」は中国語で、日本語では「現代」の意味です。

(HF)